

## 令和三年度 訓示

令和3年度開始に当たり、改めて新年度の挨拶（訓示）をしたいと思えます。

今年度はご存じの通り、介護報酬改定がございました。この内容を見ましても今までの3大介助を主体とした単なる身の回りの世話的介護から**より高度**なエビデンスに基づいた自立支援・重度化防止等を進める「**科学的介護**」へと時代が大きく変わったと感じております。この**変革の時代**を生き抜くために、これからはとにかく**考えながら動く**という姿勢を持っていただきたいと思えます。

そこで、仏教の禅語に【**知覚動考**（ちかくどうこう）】という言葉があります。漢字は、**一知るとい知、覚えるとい覚、動くとい動、考えるとい考**—と書きます。みなさんはこの言葉を知っているでしょうか？別の読み方があるのですが、どちらかというところ、こちらの方がよく使われています。それは、—**ともかくうごこう**—という読み方です。まさしく文字通り、

「知って→覚えて→動いて→考える」という意味です。とにかく動いてみるということです。

いくら知っていても、いくら覚えていても、動かなければ結果は変わりません。最初の一步をなかなか踏み出せない人がいますが、そんな人は始める前に「うまくいくかな？」「大丈夫かな？」「タイミングを見て動こう」「今は他にやるべきことがある」「やる気が出たら始めよう」とか、あれこれ考えすぎて動き出すまでに時間がかかってしまっているのです。

“**動く**”とすることについては、本田技研工業（ホンダ）を創業した本田宗一郎氏もこんなことを言っています。「**理念なき行動は凶器である、行動なき理念は無価値である**」と言っています。即ち、理念だけをお題目のように、唱えても、行動基準を定めて向かうべき方向に行動しないと、絵に描いた餅だということです。

また、さらに明治維新の陰の立役者の吉田 よしだ しょういん 松陰の名言にも

**夢なき者に理想なし**

**理想なき者に計画なし**

**計画なき者に実行なし**

**実行なき者に成功なし**

**故に、夢なき者に成功なし**

という成功哲学として知られている言葉があります。

少し分かり辛いと思うので、逆も真なりで、これを対偶して読むと、

成功する者に実行あり、  
実行する者に計画あり、  
計画する者に理想あり、  
故に **理想ある者に夢がある。**

となります。

ですから、**成功する人**は、夢を見るだけで成功することはないはずもなく、常日頃からの「**努力と挑戦を継続する実行力がある**」ということです。

理念とは、実現していく**夢** [将来実現させたいと思っている事] です。そういうことで、楽々苑の**理念**イコール=**夢**の「**明るく、思いやりのある、家庭的なケアの実践**」を目指し、2021年度は、しっかり「**計画し、行動（実行）する**」というプロセスをやり遂げて実現していきましょう！

今日は、とにかく「**行動力が大事**」であるということを申し上げて訓示いたします。

以 上